



株主の皆様へ

第167期 中間報告書

2019年4月1日～2019年9月30日



わくわくと
一緒に
「イビデン」



イビデン株式会社

証券コード 4062



株主の皆様におかれましては、平素よりイビデン株式会社並びにイビデングループ各社に格別のご配慮を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに、第167期中間期(2019年4月1日から2019年9月30日まで)の事業の概況をご報告するにあたりまして、一言ご挨拶を申し上げます。

当中間期の業績は、連結全体では売上高1,443億円、営業利益76億円となり、前中間期対比で増収増益となりました。

依然として当社を取り巻く環境は、大きく変化しております。当社におきましては、環境の変化を乗り越え、持続的な成長を実現するため、2018年度に策定しました5カ年の中期経営計画「To The Next Stage 110 Plan」に基づき、人財育成を基盤とした既存事業の競争力強化に取り組むと共に、選択と集中の視点で、今後成長が見込まれる新たな市場に対しては、積極果敢に経営資源を投下してまいります。更に、将来の成長を支える新規事業については、4つの開発センターにおいて、新製品の開発及び早期上市に向けた取り組みを継続しております。また、全てのステークホルダーの皆様より信頼される会社に向け、ESG(環境安全・社会貢献・コーポレートガバナンス)経営の推進と財務体質の強化に努めております。

株主の皆様におかれましては、今後も当社グループへの変わらないご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

2019年11月

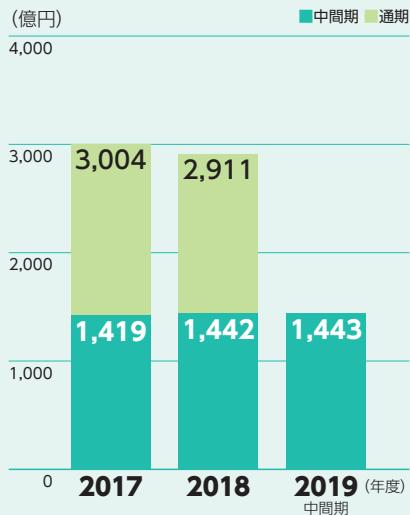
代表取締役社長

青木 武志

中間連結決算 ハイライト

Financial Highlights

売上高



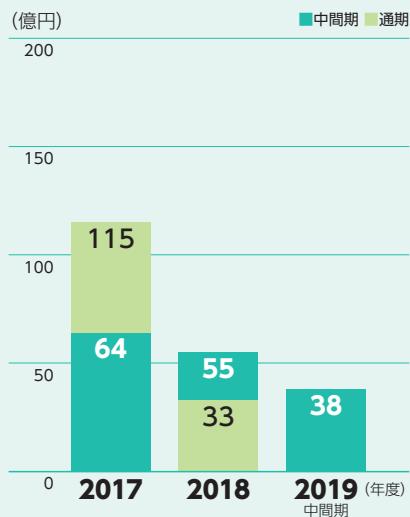
営業利益



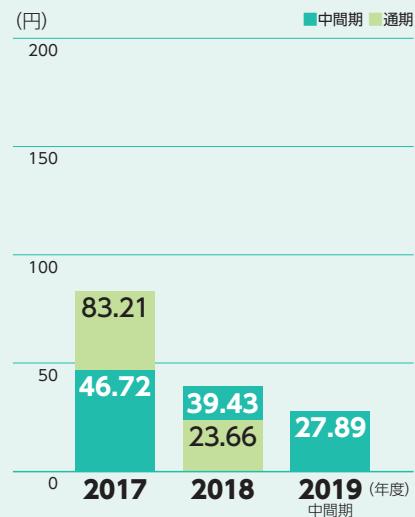
経常利益



親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益



1株当たり四半期(当期)純利益



第1回

「情報化社会」の到来と共に躍進を果たした電子事業。
来るべき5G・ICT時代への貢献を通じ、更なる飛躍へ

人と地球環境を大切にし、革新的な技術で、豊かな社会の発展に貢献する—この理念を実践することで発展を続けてきたイビデン。「持続可能な開発目標」(SDGs)への貢献もまた、社会に果たしていくべき使命であると考えています。

本特集では、当社の電子事業と、「産業と技術革新の基盤」のつながりをお伝えします。



1990年代

インターネットの登場により
PCが一般家庭にも普及

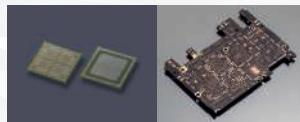


今や看板事業となったICパッケージが電子事業の躍進に貢献



2000年代

スマートフォンの登場により
予想を超えるスピードで普及が進み、
人々のライフスタイルにも影響を与える



PCの成長鈍化と予想を超えるスピードでスマートフォンが普及。コモディティ化が進み競争環境激化

急速に進む技術革新の中で
豊かなIT社会の形成へ貢献
してきた電子事業

1990年代以降、インターネットの普及とともに、一般家庭にパソコンが普及しました。この「情報化社会」の到来を高機能ICパッケージ基板技術で支えることで、電子事業の躍進が始まりました。2000年代に入ると、スマートフォンの登場により、いつでもどこでもインターネットにアクセスができるようになり、人々のライフスタイルが大きく変革しました。その一方で、電子部品の汎用化が進み、競争環境は激化していきました。

2020年代～

5Gが本格的に普及し、IoTやAI、ICTにより生活、産業、金融など様々な分野で社会を豊かにするイノベーションが進展



大垣中央事業場 第2棟

データセンターを中心とした高機能な次世代パッケージの需要に応えるため、大規模な生産能力増強を実施

2020年度
電子事業売上目標

2,000億円

データ
センター

5G

Industry 4.0

遠隔医療

CASE

ADAS
(運転支援)

MaaS

AI

働き方改革

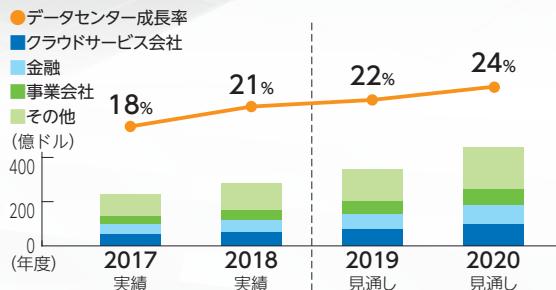
ロボット

大きな需要の波にのり、持続的成長を実現していく

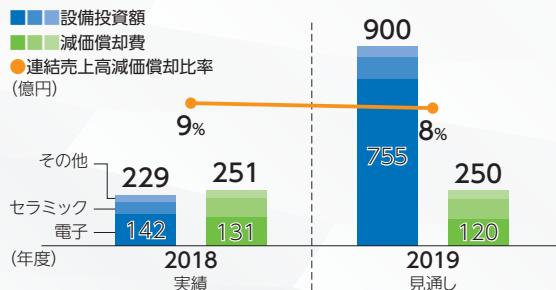
2020年に始まる次世代通信規格5Gにより、生活、産業、金融など社会をより便利で豊かなものにするデジタルトランスフォーメーションが既に始まっています。あらゆるものがネットワークにつながることで、高速・大容量なデータ処理の中核を担うデータセンターには、より高機能な次世代ICパッケージ基板が必要になります。当社は、そうした大きな需要の波を読み、この事業を成長のドライバーとすべく、大型投資により生産能力を増強することを決定しました。

イビデンはこれにより、電子事業を新たな成長軌道にのせ、持続的成長を実現していきます。

データセンター市場



設備投資額・減価償却費



電子事業



売上高

627億67百万円
(前年同期比4.3%増)

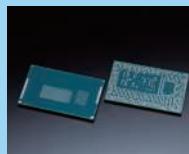
営業利益

52億90百万円

事業別
売上高構成比
43.5%

主な製品用途

- ICパッケージ基板
(パソコン・サーバー向け、携帯端末向け、情報家電向け)
- マザーボード・プリント配線板
(携帯電子機器向け)



モバイルPC向け
ICパッケージ基板 (PKG)



デスクトップPC向け
ICパッケージ基板 (PKG)

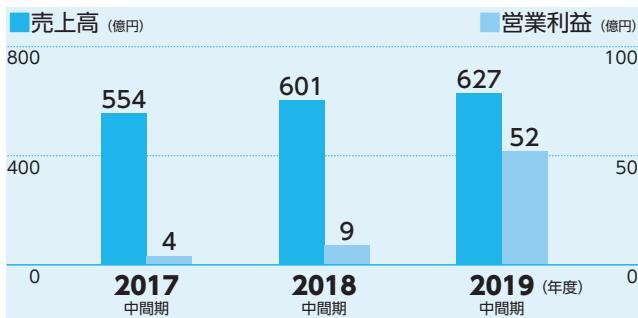


スマートフォン向け
プリント配線板 (MLB)

パッケージ(PKG)事業におきましては、パソコン市場に下げ止まりの兆しが見えたことに加えて、ICTの進展に伴うデータ処理量の増加により、データセンターで使われるサーバー向けICパッケージ基板の需要が順調に推移した結果、売上高は前年同期に比べ増加しました。

マザーボード・プリント配線板(MLB)事業におきましては、サーバー向けモジュール基板の売上はおおむね堅調に推移しましたが、ハイエンドスマートフォン向けの売上が減少した結果、売上高は前年同期に比べ減少しました。

以上の結果、電子事業の売上高は627億67百万円となり、前年同期に比べ4.3%の増収となりました。同事業の営業利益は、PKG事業の売上増加と不採算製品の生産縮小などによる事業の選択と集中を進めた結果、52億90百万円となり、前年同期に比べ44.2%増加しました。



セラミック事業



事業別
売上高構成比

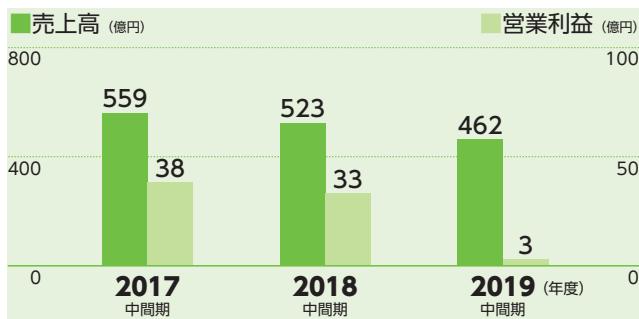
32.0%

売上高

462億68百万円
(前年同期比11.6%減)

営業利益

3億32百万円



主な製品用途

- ディーゼル・パティキュレート・フィルター (DPF)
- 触媒担体保持・シール材 (AFP)
- NOx 浄化用触媒担体 (SCR)
- 特殊炭素製品 (FGM)
(半導体製造装置向け、新エネルギー関連向け)
- 高温断熱材
- ファインセラミックス製品



ディーゼル・パティキュレート・フィルター (DPF)



触媒担体保持・シール材 (AFP)



特殊炭素製品 (FGM)
(シリコン製造装置用部材)

ディーゼル・パティキュレート・フィルター (DPF)は、主力の欧州市場を中心としたディーゼル乗用車比率低下による影響を受け、売上高は前年同期に比べ減少しました。2020年に向けて、排ガス規制の強化に伴い拡大が見込まれる新興国の大型車向けDPF市場におけるシェア拡大と新規顧客への拡販に取り組んでまいります。

触媒担体保持・シール材 (AFP)は、世界的に自動車販売が減少したことにより、売上高は前年同期に比べ減少しました。

NOx浄化用触媒担体 (SCR)は、自動車向け製品及び定置式の脱硝触媒の販売が減少したことにより、売上高は前年同期に比べ減少しました。

特殊炭素製品 (FGM)は、米中貿易摩擦の影響に端を発した半導体市場の減速により、需要が減少した結果、売上高は前年同期に比べ減少しました。

以上の結果、セラミック事業の売上高は462億68百万円となり、前年同期に比べ11.6%減少しました。同事業の営業利益は3億32百万円となり、前年同期に比べ90.2%減少しました。

建設・その他事業



衣浦事業場 水上フロート式太陽光発電所



リニア中央新幹線



日比谷パークガーデン

©Central Japan Railway Company. All rights reserved.

売上高

353億17百万円
(前年同期比11.3%増)

営業利益

22億32百万円

事業別
売上高構成比
24.5%

主な事業内容

- 各種設備の設計・施工
- メラミン化粧板 ▪ 住宅設備機器
- 法面工事部門 ▪ 造園工事部門
- 合成樹脂加工部門
- 石油製品販売部門



抗ウイルスメラミン不燃化粧板
リテクトウィルヘル



GT フレーム工法
(法面工事)



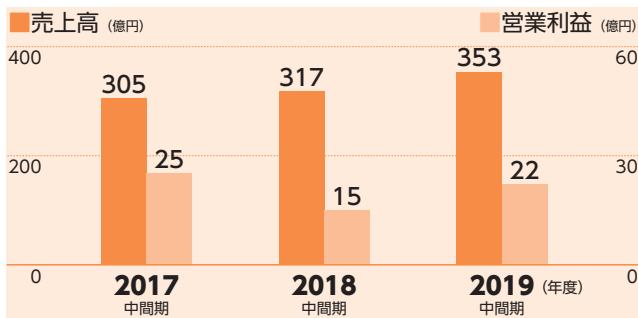
医療向けソフトウェア

建設部門におきましては、排水処理・受変電工事を中心に受注は堅調に推移しましたが、工事の完工時期が下期に集中していることから、前年同期に比べ売上高は減少しました。

建材部門におきましては、住宅設備機器販売部門は、コンポーネント住宅の拡販に努めた結果、前年同期に比べ売上高は増加しました。

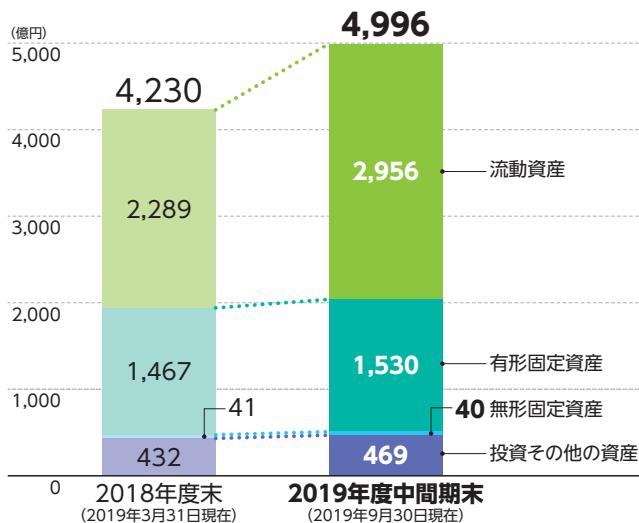
その他部門におきましては、石油製品販売部門は、販売数量の減少及び販売価格の下落により、前年同期に比べ売上高は減少しました。また、合成樹脂加工部門は、精密分野及び建材分野向け発泡樹脂製品並びに自動車分野向け射出製品の販売数量増加により、前年同期に比べ売上高は増加しました。

以上の結果、建設・その他事業の売上高は353億17百万円となり、前年同期に比べ11.3%増加しました。同事業の営業利益は、22億32百万円となり、前年同期に比べ40.1%増加しました。

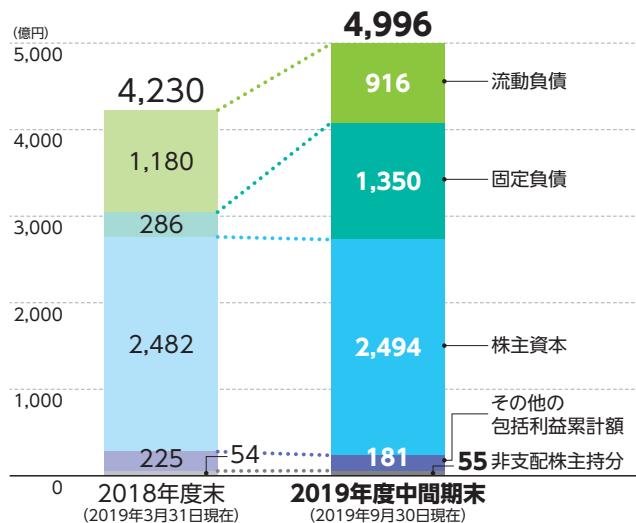


財務の状況

資産の部

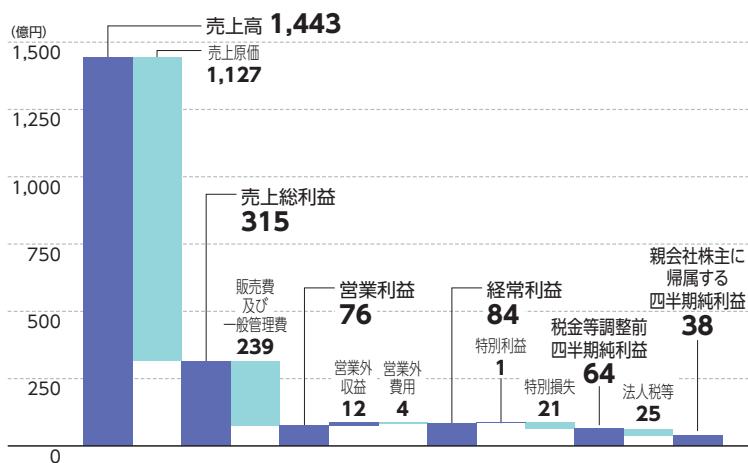


負債の部



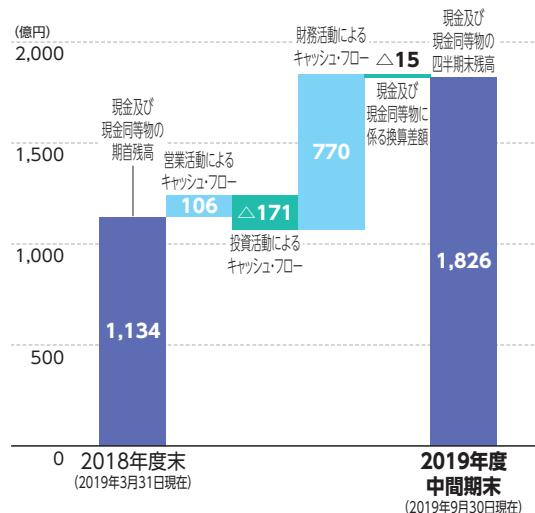
損益の状況

2019年4月1日～2019年9月30日



(注)記載金額は、億円未満を切り捨てて表示しております。

キャッシュ・フローの状況



会社概要

創 立：1912年(大正元年)11月25日
 資 本 金：64,152百万円
 従業員数：3,576名(連結12,912名)

主な営業所

本 店：〒503-8604 岐阜県大垣市神田町2-1
 ☎(0584)81-3111(代)
 東京支店：〒100-6329 東京都千代田区丸の内2-4-1
 (丸の内ビルディング29階)
 ☎(03)3213-7322(代)

事業場

大垣事業場、大垣中央事業場、青柳事業場、河間事業場、
 大垣北事業場、神戸事業場(以上岐阜県)
 衣浦事業場(愛知県)

会計監査人

有限責任 あずさ監査法人

役 員

取 締 役

代表取締役：竹中 裕紀	取締役(常勤監査等委員)：阪下 敬一
代表取締役：青木 武志	取締役(常勤監査等委員)：桑山 洋一
代表取締役：児玉 幸三	*取締役(監査等委員)：加藤 文夫
取 締 役：生田 斉彦	*取締役(監査等委員)：堀江 正樹
*取 締 役：山口 千秋	*取締役(監査等委員)：川合 伸子
*取 締 役：三田 敏雄	
*取 締 役：吉久 光一	

※……社外取締役

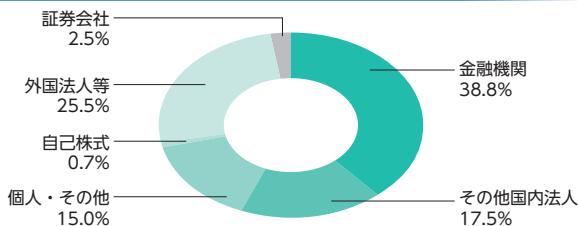
執行役員

会 社	長：竹中 裕紀
	長：青木 武志
副 社 長	長：児玉 幸三
専務執行役員	長：生田 斉彦
常務執行役員	長：伊藤 宗太郎
常務執行役員	長：河島 浩二
常務執行役員	長：久保 修一
執 行 役 員	長：遠藤 本鎮
執 行 役 員	長：平松 靖二
執 行 役 員	長：佐野 尚
執 行 役 員	長：稲垣 靖
執 行 役 員	長：野田 宏太
執 行 役 員	長：大野 一茂
執 行 役 員	長：山田 啓二
執 行 役 員	長：川崎 保典

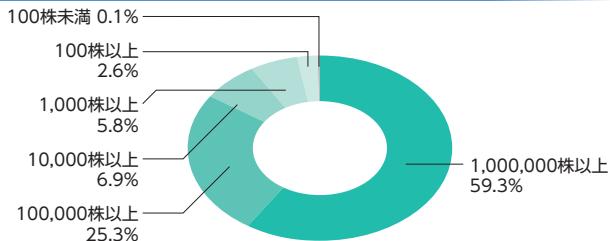
株式の状況

発行可能株式総数・・・230,000,000株
 発行済株式総数・・・140,860,557株
 株主数・・・21,942名

所有者別株式分布状況



株数別株式分布状況



大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	13,326
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	10,800
株式会社デンソー	7,712
株式会社豊田自動織機	6,221
株式会社大垣共立銀行	4,150
株式会社十六銀行	4,130
イビデン協力会社持株会	4,033
イビデン社員持株会	3,071
SSBTC CLIENT OMNIBUS ACCOUNT	2,870
大樹生命保険株式会社	2,539

(注) 千株未満切り捨て表示

株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月

基準日 定時株主総会 3月31日
 期末配当 3月31日
 中間配当 9月30日
 その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めます。

公告の方法 当社のホームページに掲載いたします。
 ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
 公告掲載URL <https://www.ibiden.co.jp/>

単元株式数 100株

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
 三井住友信託銀行株式会社

同事務取扱場所 〒460-8685 名古屋市中区栄三丁目15番33号
 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 ☎0120-782-031

同取次窓口 三井住友信託銀行株式会社 全国本支店

上場取引所 東京、名古屋各証券取引所 第1部

●未払配当金の支払いに関するお申出先

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

●「配当金計算書」について

配当金支払いの際に送付しております「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、添付資料としてご使用いただくことができます。

なお、配当金領収証にて配当金をお受取りの株主様につきましても、配当支払いの都度「配当金計算書」を同封させていただいております。

確定申告をなされる株主様は、大切に保管ください。

ホームページのご案内

当社ホームページでは、企業情報、投資家情報、ESG情報など、様々な情報を掲載しております。特に株主・投資家の皆様に向けましては、社長メッセージ、決算短信、主力製品の紹介なども掲載しております。ぜひご覧ください。



<https://www.ibiden.co.jp/>

株主優待寄付金のお知らせ

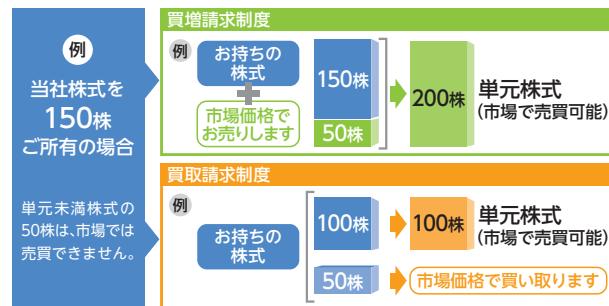
本年度は、寄付を選択されました84名の株主様から、総額300,000円の優待品相当額の寄付金をお預かりし、下記のとおり寄付させていただきました。

寄付名義：イビデン株式会社 株主寄付金
実施日：2019年9月30日
寄付先：国立大学法人 岐阜大学 150,000円
日本赤十字社 150,000円

多くの株主様より温かいご芳志を賜り、心より御礼を申し上げます。

単元未満株式(1株~99株)買増・買取請求のご案内

当社では、単元未満株式をご所有される株主様が、単元株式(100株)にまとめるため、当社に対して1単元の株式の数に不足する数の当社株式の買増請求を行うことができる【**単元未満株式買増請求制度**】、または当社に対して単元未満株式の買取請求を行うことができる【**単元未満株式買取請求制度**】のいずれかの制度を選択してご利用していただくことができます。



●お手続き方法

特別口座で単元未満株式をご所有の株主様

特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申しください。

0120-782-031

証券会社等で単元未満株式をご所有の株主様

お取引のある証券会社等にお申しください。

※単元未満株式の買増・買取手数料は無料となっておりますが、証券会社等を通じてお取引された場合、別途手数料が徴収されることがございます。詳細につきましては、お取引のある証券会社等にご確認願います。



見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。



環境に配慮したFSC®認証紙を使用しています。



環境に配慮した植物油インキを使用しています。